市の北部有線放送電話施設は、十一月一日から既設の南部施設と合わせ市内全地域を対象に業務を開始し、さる六日、大篠小で開通祝賀の式典を催した。当日は県知事、市長などの祝辞、四国電波監理局長、塩見参議、森本衆議の祝電披露など盛大に行われた。

北部の施設はさる七月、工費二千二百十万円で着手、一千二百七十九戸に施設を終ったもの。

また南部は昨年五月、工費二千二百九十万円で一千五百戸に施設し業務を始めたが、次々に増設、現在での総工費は三千三十九万円、加入戸数二千三百七十四戸にふくれ上っている。

このため総工費は五千二百四十九万円となり、加入者出資金（一戸一万円）農協融資、新農山漁村建設資金などでまかなった。また南北を合わせた加入戸数は三千五百五十三戸、市内の総戸数約一万一千戸だからざっと三戸のうち一戸が加入していることになる。

運営は市農事放送農協組合（池川滋寿組合長）が当の同事務所を、大篠小学校前におき、北部百四十五回線南部百九十一回線を収容、職員も十八人と大世帯。交換時間は季節によって違い十一月二十一日から二月二十八日までだと朝五時五十分―夜九時まで、時間外は緊急通話の扱いとなり、規定聴取料（電話器一台で月額二百五十円）より別に料金がいる。

放送は朝六時―夜八時までの間に五回、一回十五分―二十分間となっているが、大車や水害などは緊急放送し、多数の人が関係する行事の日程変更などは臨時放送する。

川添収入役を再任

臨時市議会で

市議会の臨時会は、去る十日に招集され、収入役選任の同意を求める議案など、ほか六議案について審議された。

現川添収入役は、この十二月十三日に任期が満了するので、議会に対しあらたに選任の同意を求めたもので、無記名投票の結果賛成多数で再任された。

その他、国民健康保険税条例の一部改正条例（納税義務者に対する保険税の一部減額の規定）

本年四月から十月までの長雨についての、被害農林漁業者に関する予算外義務負担（農協に対する利子補給と損失補償）

川添氏の略歴

川添　豊氏　46才

終戦後、大篠村に奉職、商生係などをつとめ、のち収入役となる。

31年9月香長村発足後同村収入役

34年12月市初代収入役。

自宅は、篠原一〇九四番地

就任のあいさつ

市議会議長　沢村武一

去る十一月の第三十回市議会臨時会の議長選挙において不肖私が名誉ある本市議会議長に選らばれました光栄は、感激に堪えないところであります。

顧みますと昭和三十四年十月一日市が発足し、翌十一月五日に行なわれました。第一回の議会議員選に当選以来四カ年間新市建設のため明るい市政、市民の福祉を念じて参りましたが、なんら市政の上に稗益するところがなく、加うるに浅学非才の身で、もとよりその器でないと存じています。しかしながら当選の背後には多数市民で支援あることを信じ、不敏をも顧みませず議長の職をお引受けいたした次第であります。

今後は市政伸展のため全力を挙げ、専心努力いたす決意を新にしている次第であります。

なお、議会運営につきましては不偏不党、公正無私の立場を堅持いたしますことは申すまでもなく、議決機関であることの使命と、権限を尊重し、その威信と品位を保つ覚悟であります。

叙上の重責を果しますには同僚の議員はもとより、市民の方々のご指導とご鞭撻にまたねばなりませんので心からお願申しあげてあいさつといたします。

1月15日に成人式

580名が大人に

青年を祝い、励まし趣旨で、市連合青年団と市教育委員会では毎年一月十五日成年式を行なってきているが、来年は五百六十三人（男三百五十九人女三百二十一人）である。

負契約の締結

一般会計の追加更正予算案（追加額三百三十五万円累計、五億九千二十万円）など、原案通り可決された。

選挙終りぬ

西内氏県議に初当選

十一月十五日の知事、県議補選および二十一日の衆議院選を最後にことし行なわれたすべての選挙は、終末をつげた。

総体的に投票率は県下の市町村にくらべ、また、前回のそれよりも高く、知事選で七十八、三四％（男77、75、女78、84）県議補選は七十七、八五％（男77、19女78、42）、衆議院は七十七、一五％（男77、74、女76、63）を示した。本市における投票率の高低と、投票の有効、無効によって知ることができる。

ところで本市における投票率で良かったのは、知事選では久枝の九十、四二％を最高に、八京の九十、三五％とつづき、県議補選は西内氏の出身地である久枝の九十一、六一％とをトップに片山の九十一、二五％八京の九十一、一五％とつづき衆議院選では九十一、八一％の奈路投票所を最高に明見、浜田の各投票所となっている。

しかしその反面低調に終ったのは、第二十五（長岡東光寺）二十六（長岡西福寺）二十七（長岡西部公民館）の各投票所でなかよく下位を争い。六十％そこそこの投票率であった。

また、無効投票の多かったのは県議補選と知事選で、知事選との同時選挙が災いしたものか、候補者でない者の氏名を記載したものが多く、県議選に知事を、知事選に県議の氏名を書いたもの、市会議員の氏名を書いたものなどが多くみられた。無効票の内訳はつぎのとおり。

摘要	知事選	県議選	衆議院選
候補者でない者	418	336	58
候補者となることができないもの			5
2人以上の候補者の氏名を記載	6	2	6
候補者以外の他事	4	3	3
何人を記載したか確認できないもの	10	5	8
白紙	71	127	25
雑事	36	65	12
符号記号	17	37	8
計	562	575	122

多い無効投票

県議補選で五七五票

選挙意識の高さを知るためには、投票率の高低と、投票の有効、無効によって知ることができる。

ところで本市における投票率で良かったのは、知事選では久枝の九十、四二％を最高に、八京の九十、三五％とつづき、県議補選は西内氏の出身地である久枝の九十一、六一％とをトップに片山の九十一、二五％八京の九十一、一五％とつづき衆議院選では九十一、八一％の奈路投票所を最高に明見、浜田の各投票所となっている。

しかしその反面低調に終ったのは、第二十五（長岡東光寺）二十六（長岡西福寺）二十七（長岡西部公民館）の各投票所でなかよく下位を争い。六十％そこそこの投票率であった。

また、無効投票の多かったのは県議補選と知事選で、知事選との同時選挙が災いしたものか、候補者でない者の氏名を記載したものが多く、県議選に知事を、知事選に県議の氏名を書いたもの、市会議員の氏名を書いたものなどが多くみられた。無効票の内訳はつぎのとおり。

隨想リレー

ホームシックの半生

筆者のよこがお

山本知一（社会教育課長）

未来への大志に胸をふくらませはじめて経験する社会へ、しかも未知の県外に就職してゆく中卒の少年少女たちのことを思う度に、自分が青年時代異郷であじわった郷愁の十年の生活を思いだす。

長岡村にいた私は当時の村長ら数家族と開拓民として、北海道に渡ったのは三十三才のときであった。

およそ開拓者の辿る道は極めて嶮しい、想像に絶する困苦欠乏と重労働は常に厚いかぶさっているため、若きのエネルギーとぶ石に噛りついても止まない斗志呈ましい開拓魂を必要とする。

北国の春は一度にやってくる、百花繚乱かと思うとすぐ酷熱の夏、秋もまたあたりの原始林の楓が紅葉しだしたと思ったら一夜の嵐に散り果て、冬の冷に一足飛びに変ってしまう。時には色づきはじめたまま雪に埋ってしまうことさえある秋と冬とが一度に襲いかかってくるこの自然の姿は、まさに残酷である。この季節こそいかに堅固な開拓魂も故郷恋しさに切なく胸を絞めつけられる。張り詰めていた決心も帰心矢のごとく、ホームシックも重症となる。この時故郷からの手紙、友から寄せられる激励の便に力を倍返し踏み止まったものである。

故郷の友の便りが如何に有難く力強いものであったことかこうした支えによって苦節十年を頑張った。

入殖が三月半ばまだ深い雪の下で何も彼も眠っているかに見えたが、眠っているのではない、雪の中でなければならない北国の開発年程前から開かれた村だと聞いたが、渺渺たる平野は基盤目も正しい水田となっていた。寒地農業の水稲のみに頼る農業経営に問題があった。最少五町歩、大きくは二十町歩も耕作していたが、これが二カ年続いて冷害による収穫皆無という惨状を見たが、北国人のねばり強いことにも驚いた。

当時の産業組合、村役場の農会は目毎に目下の生きる道、将来えの経済更生対策等協議が続けられた。冷い水に直播して成長が遅れ秋の冷害にやられていることの農法に無理があるので、われわれ土佐人の間で衣笠早稲の温床苗の経験から耕作の一部に早く苗を育てて苗植による早期栽培をやってはどうだろうかといいだしたことから、これを奨励し先づ一カ年の食糧と翌年の種籾の確保だけの面積を苗植による早期栽培を試みた。

各県から入殖している田植の経験者が動員され横に向って植える者、前え植えて行く者、面白い田植風景が見られたが、土佐婦人が人気の焦点となり、産業組合長は、一分間に同十株植えたとタイムをとり、はやしたてたものだった。土佐式田植法はかくして北海道の花形となり直播より約半月早い田植はその年の秋には見事な黄金の波に農家は笑いが止まらなかった。直播の方も大豊作ではあったが、食糧一カ年分の田植は今も続けていることだろう。

さて、自分は開墾を終り一つの事業を起こし軌道に乗ったと思ったのに、わずか一カ月のうちに呼び寄せていた父と、愛児二人をなくしてしまい、加えて明日をも知れぬ入院中の妻を抱えて力尽き果て、十月末の木枯に吹き散らされる木葉でとく故郷へと汽車の人となった。尊敬していたボーイ、ビー、アンビレヤス（少年よ大志を抱け）で有名なクラータ博士の銅像が立つ北海道大学に向って、別れの頭をさげた、見おさめの校庭のポプラ並木が泣き笑いの目に汽車の窓から霞んでみえた。

三つの遺骨と病後の妻、残った二人の女児これがその時の私の全部であった。

かくして青雲の志は儚く消え去った。

幼にして神童とうたわれ十代にして総理大臣を、二十代で知事にと、三十代で郡長を、四十代でせめて村長をと焦り、五十代に至りついに我が身の無能を知ると昔の人の敬きのまま、ああわれはまた五十代にして「ギッチョウ」とは（左利き？）

次は同性の山本学校教育課長にバトンを渡します。

レシートの回収で

南海学園へクレパス

少年補導センター

市内にある二カ所のスーパーマーケットの入口へ、レシートの回収箱が設けられた。

これは市の青少年補導センターが、南国、主婦の店両店の協力を得て九月末に設けたもので、約一カ月後に八千円の善意が寄せられ、同センターでは早速クレパスを購入し、南海学園の園児たちに贈呈した。

こん後は、ソフトボール大会、弁論大会費や、非行防止の活動費など、恵まれない子供たちの善導のために役立てることにしている。

同センターでは、レシートの回収に一般の人たちの小さな善意と、協力をより以上にのぞんでいる。

（写真は、田岡市民課長から贈られたクレパスを受取る、南海学園児の代表）

みんなで明るい正月を

歳末たすけあい運動

市の社会福祉民生委員協議会では、今年も歳末「たすけあい」運動を実施する。

この運動は、所得の低い生活の苦しい家庭や病気、災害のため不幸なひとたちのために住民のお互いが手をつなぎ「みんなで明るい正月を」のスローガンのもとに行なうもの。

期間は12月中で、わずかでも善意な募金にご協力ください。

明治41年9月高知市重倉で産湯につかる。大正12年一宮村第一高小卒、農業に精励、昭和26年久礼田村税務係、31年後免町領石支所、33年同町教育委員会、34年市教育委員会現職となる。

若き頃、希望に満ちて北海道に渡り開拓史の一頁をかざる、功なし遂げたが健康のことでこと志を違えた大望の持ち主、社会教育の御大としてハツスルし、黒バスでのご婦節が多く、妻には解ってもらえぬ苦労もあるそうな。

かくれた広報委員でもある。

左の方は極秘に……

家庭に妻貞子(50)ご寡子の亮一(33)二女千鶴(28)さんと孫の誠之(5)哲也(1)君の五人がある。

領石支所移転

市の領石支所は、一月一日より植野の登記所跡で就務する。移転は、二十七日から。